

令和4年度小谷村ケーブルテレビ放送番組審議会議事録

日 時	令和4年10月11日(火)10:00~11:00	場 所	小谷村役場 201 会議室	記録者	上川(由)
出席者	<p>【委 員】5名 上川喜一、今井頌治、北村和則、吉澤学、北村順二</p> <p>【事務局】3名 賣場崇大、諏訪匠、上川由香里</p>				
No	内 容				
1	開会				
2	議題				
	<p>(1) 放送番組について</p> <p>事務局より、資料1に基づいての説明と映像確認がなされた。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>事務局) 大糸線の番組は、来馬断層の恐竜の足跡の化石や塩の道、小谷村出身者へのインタビューなど、小谷と関連ある内容を打ち出すことで単純な糸魚川市の宣伝にならないよう留意した。デマンドタクシーも JR 大糸線も番組制作で関わることで利用の課題が見えてきたように感じた。また、番組が利用促進に繋がったかどうかの効果測定は難しいところである。</p> <p>委 員) 大糸線の取材をきっかけに、糸魚川の方々と交流が生まれ、複合拠点施設での出店に繋げることができた。</p> <p>委 員) 大糸線の番組は放送時に視聴したが、よくできている。プロのものとは比べても遜色なく、何回見てもおもしろい。</p> <p>事務局) 制作費用を大糸線活性化協議会から支出いただけた。それもあって充実した内容になったと思う。</p> <p>委 員) デマンドタクシーの番組は村民の方が楽しく利用している風景が印象的だった。視聴者も利用したい気持ちになるのではと感じた。どちらも利用につなげるきっかけとして素晴らしい番組だった。利用の課題については、実際に使っていただいた利用者の声を元に各機関で対応をしていただくのがよいのではないか。</p> <p>委 員) 編成段階で CATV としての番組制作の目的はどこかを改めて確認してはどうか。おそらく楽しく見ていただくことが第一かと思われるので、行政寄りの内容になるようにさほど意識しなくてもよいのではないか。</p> <p>事務局) 今後の番組制作にあたり、目的の確認など改めて心掛けていきたい。</p> <p>(2) 他ケーブルテレビ局との連携について</p> <p>事務局より、資料2に基づいて報告がなされた。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>委 員) 番組制作・連携にあたり、費用面での審議が必要になるか。</p> <p>事務局) 制作への参加自体は無料。視聴者へ各局から用意されるお年玉プレゼントや衣装代などは各局負担で費用発生するが少額の見込みであるため、審議は不要である。</p>				

事務局) 取り扱う予定のテーマで、特にモツを食べる文化のルーツなどについてご存知のことがあればご意見をお寄せいただきたい。

委員) 昔、土木工事などで小谷へ集まった朝鮮半島からの出稼ぎ労働者の食文化が残ったのではという説を聞き及んだことがあるが、不確かなところ。

委員) 消防団やソフトボールの大会後に野外で焼肉も兼ねてモツを焼くことが定番だったが、コロナ禍では行われなくなった。今もモツ会が続いている地区は、雨中・池原しかないのでは。

事務局) 地区のモツ会と取材のタイミングが合わなければ、スタッフ間でモツ会を開催するなどして映像を確保する予定。

事務局) 今回が初参加となるが、スタッフ配置などの打合せの中で INC（長野市）やエルシーブイ（諏訪地域）などと局の規模感の違いが擦り合わせきれていないように感じられたため、様子を伺いながら進めていきたい。

3 その他

(1) 次回会議について

委員) 次回開催は2月の予定だが、番組改編時期にあたるなど何か議題は決まっているか。

事務局) 現在の体制で制作しているレギュラー番組は2021年9月から放送開始しており、先月で一年が経過した。改編時期をしっかりと定めているわけではないが、社内で検討し、議題にも反映させたい。

事務局) 次回が2年間の任期で最後の会議となるので、ご承知おきいただきたい。

委員) ぜひ多くの委員が出席できるよう日程調整をしてほしい。

4 閉会

特記事項

次回開催は、2023年2月実施予定となった。